

## 2022年3月期 決算説明会 質疑応答の要約

開催日時： 2022年4月27日 16:00~17:00  
開催場所： SBテクノロジー株式会社 本社 (Teams開催)  
回答者： 代表取締役社長 CEO 阿多 親市

## &lt;質問者1&gt;

(1) 3月に発生した次期情報セキュリティクラウドのインシデントについて詳細を教えてください。

2022年3月18日に当社が構築及び管理を行う自治体情報セキュリティクラウドのメール中継システムにおいて、障害対応メンテナンス時の設定変更不備により不正中継(オープンリレー)が発生した。悪意のある第三者にメール送信に利用された結果、およそ91万件の不正メールが送信されてしまった。詳細については、当社ホームページにてご説明しているのをお読みいただきたい。本件については、深く反省するとともに、このような事態が発生しないよう再発防止策を徹底する。

2022年3月21日

[当社が管理するメール中継システムによる外部メール不正中継について](#)

2022年3月23日

[当社が管理するメール中継システムによる外部メール不正中継について\(第二報\)](#)

(2) 第4次中期経営計画では売上総利益で開示されるとのことだが、どのようにして売上総利益率を改善するのか。

生産性向上と製品ポートフォリオの変革の両面から取り組みたい。農林水産省の電子申請基盤で実現したようなプラットフォームの提供と、そのプラットフォーム上でお客様自らがローコード・ノーコードでDX推進をする、そこをサポートしていきたい。またコンサルティングを軸としながら上流工程で利益率を改善したいと考えているが、詳細についてはFY22第1四半期決算発表の際にご説明する予定。

(3) クラウド・セキュリティ&サービスの売上高500億円の目標に対しては、主にソフトバンク(株)向けで伸ばすのか。

当社がクラウドと呼んでいるものはパブリッククラウドであるが、ソフトバンク(株)は自社でデータセンターを持っておりこの定義に当てはまらないものが多い。ソフトバンク(株)向けの中でもAzureやAWSといったパブリッククラウドに関する案件については、クラウドビジネスに当てはまるが、その他の企業が伸びのメインとなる。

## &lt;質問者2&gt;

(1) 第4次中期経営計画で営業利益率7.8%から9%台への改善を掲げているが、どのように改善していくのか。

詳細については FY22 第 1 四半期決算の際にお話しさせていただく予定だが、クラウド・セキュリティ&サービスの構成比を高めることで利益率の改善を図りたい。

(2) FY22 の構造改革の中で限界利益率の低いソフトバンク案件の整理を行うのであれば、売上成長は減速すると思うがどうか。

ソフトバンク(株)のベンダーマネジメント案件では「SI の標準化」ができ無駄な開発やテストを削減する効果が出た。一方で、ベンダーマネジメント案件による効果は一巡しておりこれまでと同じように拡大する想定はないが、その他の企業も含めて全体で伸ばしていく見込みである。

<質問者 3>

(1) 次期自治体情報セキュリティクラウドの進捗は? FY22 の入札予定はあるか。

FY21 では東北 6 県、新潟、栃木、長崎、佐賀 10 県を受注した。サービス化し集約することでコストダウンとセキュリティレベルの標準化できるのが当社の強みである。FY22 ではこれらを活かせる県に入札をしていきたいと考えている。

(2) EC 事業における契約変更は EC 事業での減益影響をどのように見ているか。

FY22 への業績インパクトが 1 番大きく、営業利益で 4 億円程度の減益が見込まれる。EC の利益率は高いため、その影響を受けながら利益率を改善するにはそれ以外のソリューションでしっかり収益性を改善していく必要がある。

(3) 第 4 次中期経営計画期間での営業利益率はどのようなカーブで改善するのか。

企業の DX 化やセキュリティ対策に関する需要は引き続き旺盛であると思うが、それらを実現するための当社の構造改革や EC 事業での契約変更の影響により、FY22 については少し立ち止まった形になる。FY23 以降には利益率が改善していくと考えている。

以上